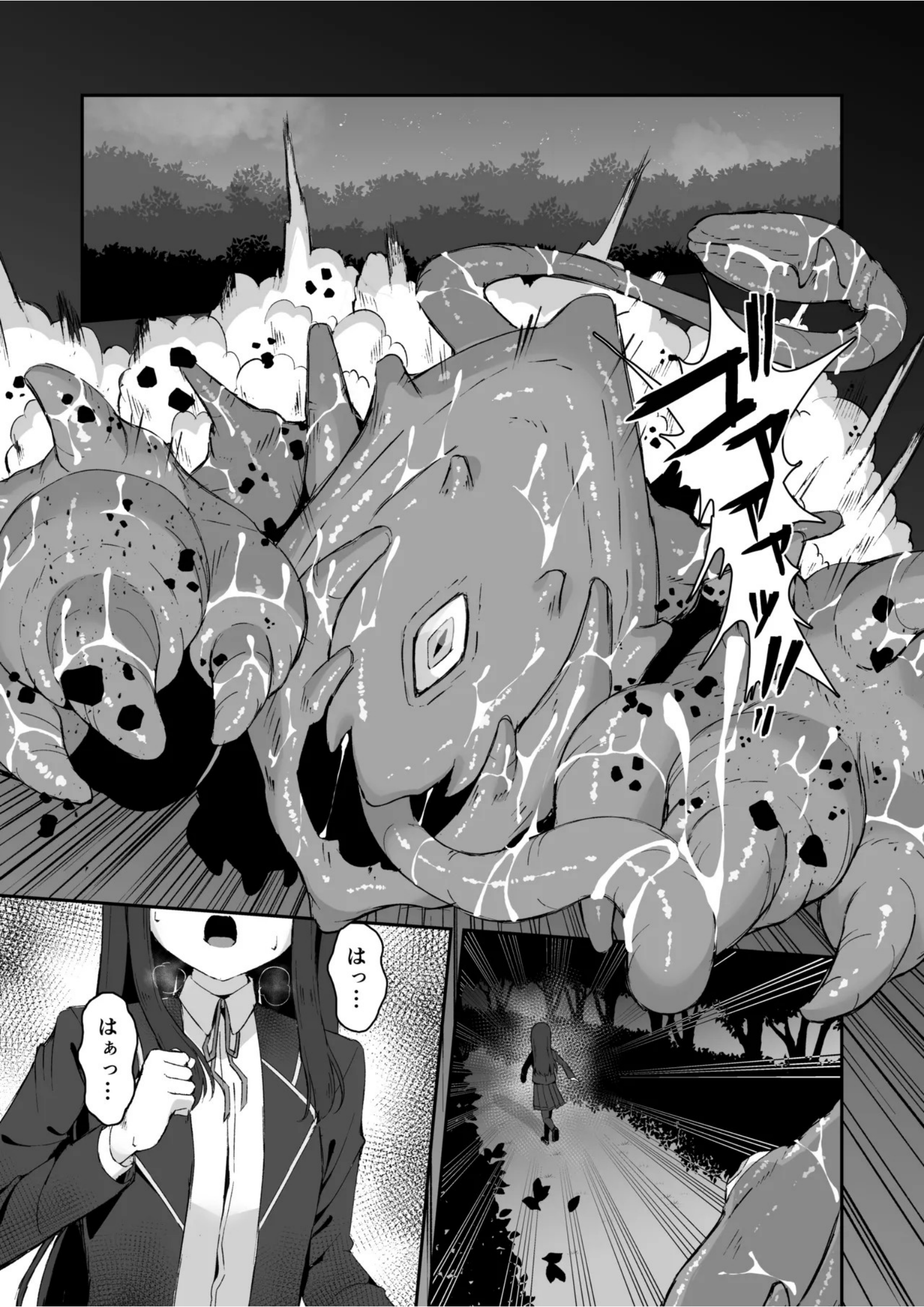
上級術師が
後輩に触手で
敗かされる話
A STORY ABOUT A SENIOR MAGICIAN BEING DEFEATED BY A JUNIOR WITH TENTACLES


エアヤツ!!
はっ…
はぁっ…

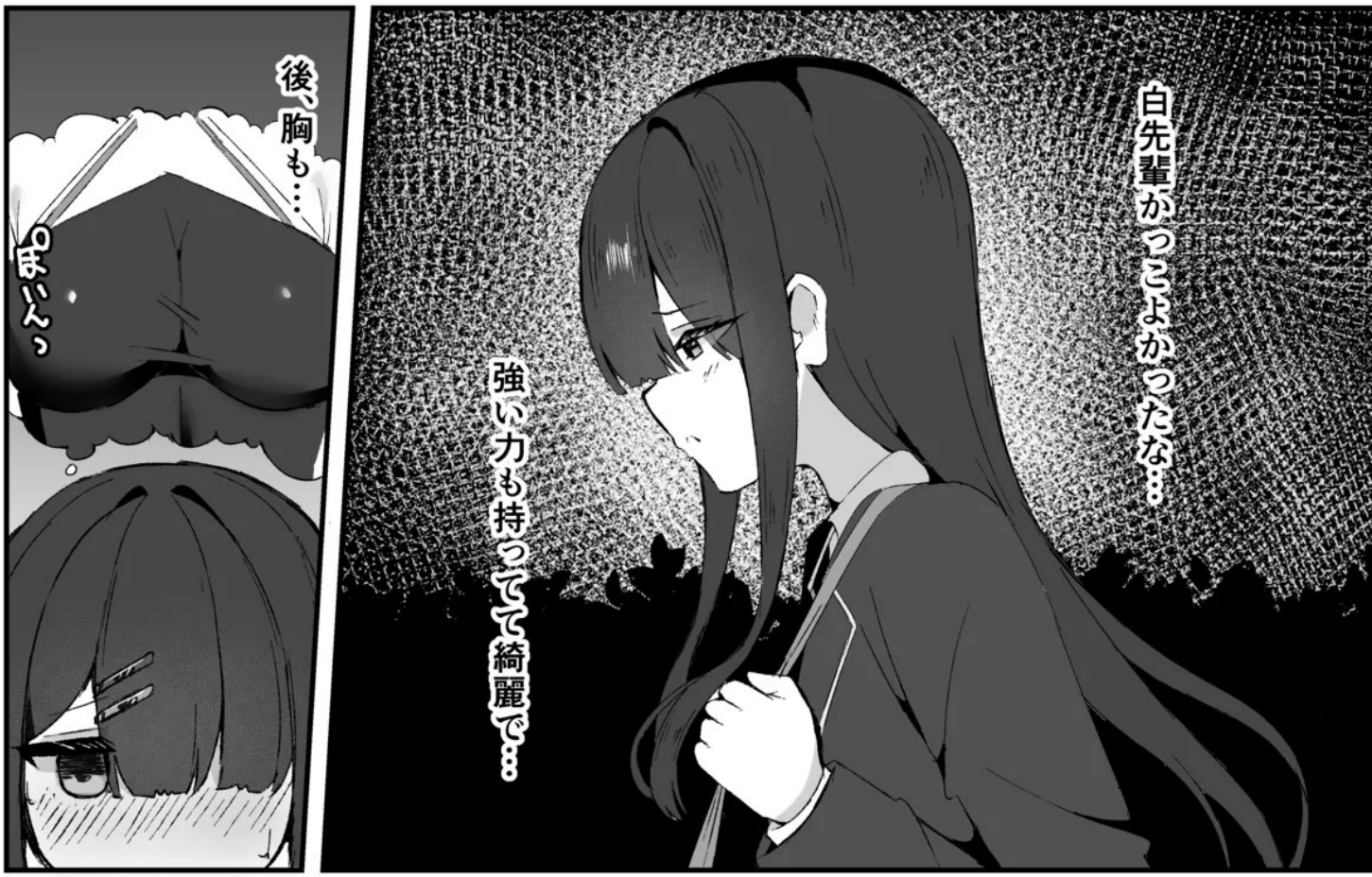
早く…
応援を呼ばないと…
っ…！
ズ
ウッ…
ゴ
お願い…っ
キィン…
妖獣対策局　能力者部門
C級能力者
指月　司(しづき　つかさ)
能力：命令(コマンド)

停止命令
（コマンド・ストップ）!!
ドタアッ
効いた…
今のうちに…
ピッ…
ピッ…
ダメ…
私の能力（ちから）じゃ…

はぁぁぁっっっ!!
え…
へ？…

司ちゃん
遅くなってごめんね！
は…
白せんぱぁい…
よく頑張ったね…
もう立てる？
は、はい……
ありがとう
ございます……
妖獣対策局　術師部門
壱級術師
焔咲　白（ほむらさき　はく）
使用術式：霊獣宿し

はぁ…
とぼ…
とぼ…
また助けられちゃった…


白先輩かっこよかったな…
強い力も持ってて綺麗で…
後、胸も…
はぃんっ

ダメダメっ！
私ったら何考えて…
ぎるっ…
ブン
ブブ
ル

とすっ…
ドクン
あ…
ぐ…
嫌っ…
入って…来ないで…っ

たぁっ！

ゴォオ
オォル…
スタッ…

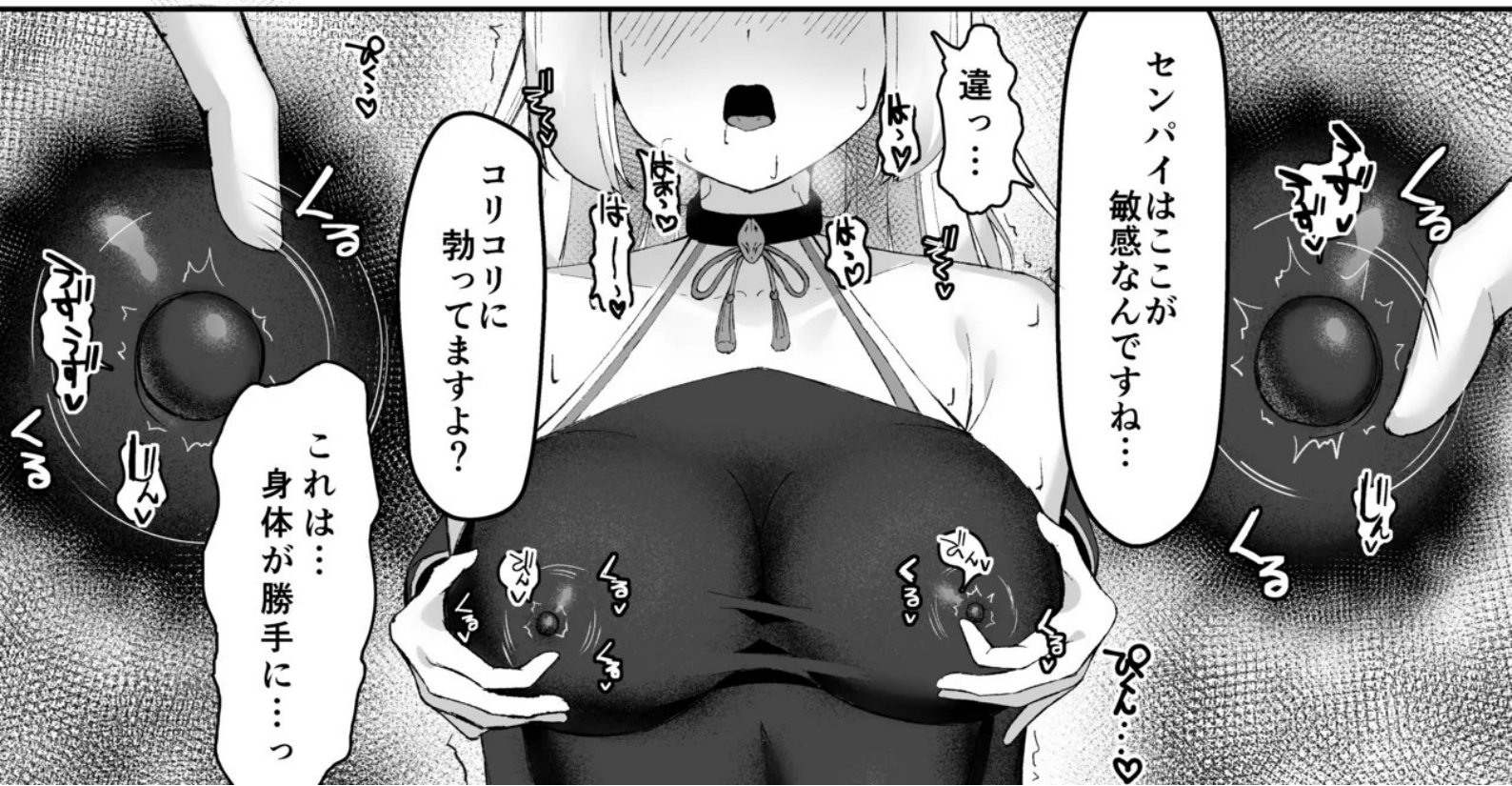
普段より手ごたえがない気もするけど…
気のせいかな…？

やっぱりこれくらいだと
相手にならないですね

司ちゃん…？
センパイと
二人きりになりたくて…
さっきの子達に
協力してもらいました
人間と妖魔が協力するはずが…
どうして
こんな事したの…？
私、強くなったんですよ！
センパイにも
見てもらいたくて
強くなったって
どういう事…？
そもそも妖魔と
一緒にいるなんておかしい…
能力を使われても
私の力なら抵抗できる…
一旦気絶させるしか…！
ゲシッ

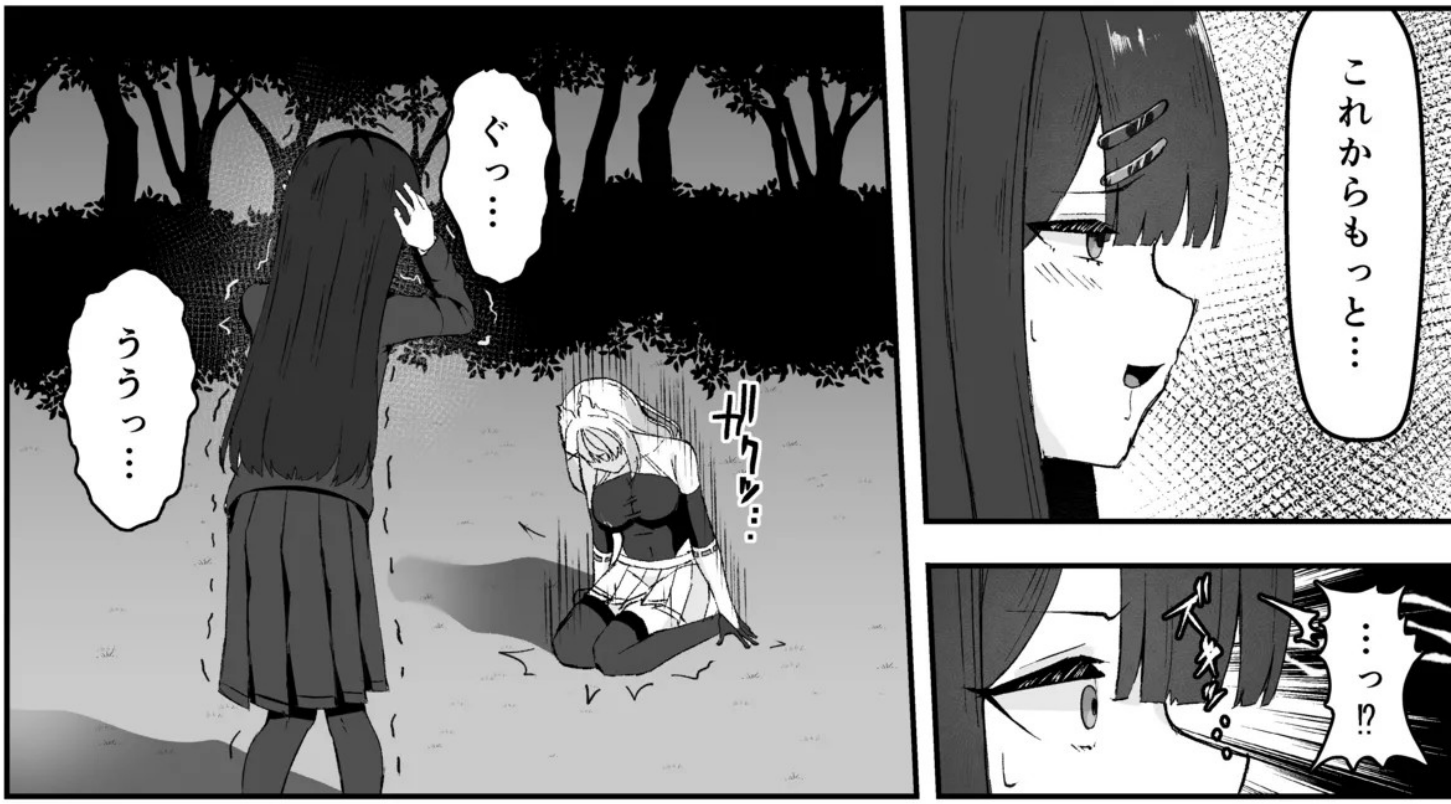
停止命令
（コマンド・ストップ）
あぐっっ!!
なんで…？
司ちゃんの能力は
こんなに強力なはずじゃ…？
ダメですよセンパイ？
さっき強くなったって
言ったじゃないですか？

さて…うっかり屋さんのセンパイの弱点…
探しちゃいましょうか
すうっ…
っ…！
司ちゃん…
やめ…んっ
くっ…
ふぅっ…
あっ…
くっ…


センパイはここが敏感なんですね…
違っ…
コリコリに勃ってますよ？
これは…身体が勝手に…っ

まだちゃんと触ってないのに
そんなになってたら…
ますますいじめたくなる
じゃないですか…

ぴくっ…
ひぅぅっ……
びくっ
ちゅうぅっ
くりっ
くりっ
するぅ…
さっき指で触られたのと…
だめっ…そこ…
生ぬるい舌の感触が……
ぬりゅん
ぬりゅっ
ねっとりまとわりついて…っ
くっ…
うっ…
ふぅっ…
全然違う…っ
ぐりっ
ぐりっ
きゅうっ
あっ
擦らないでっ…
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ぬ
じん…
じん～
スーツ越しでもこんなに濡らして…
ぬるぅ…
えっちなんですね、センパイ
はぁ…はぁ…
ちがっ…
ぬちゃぁ…

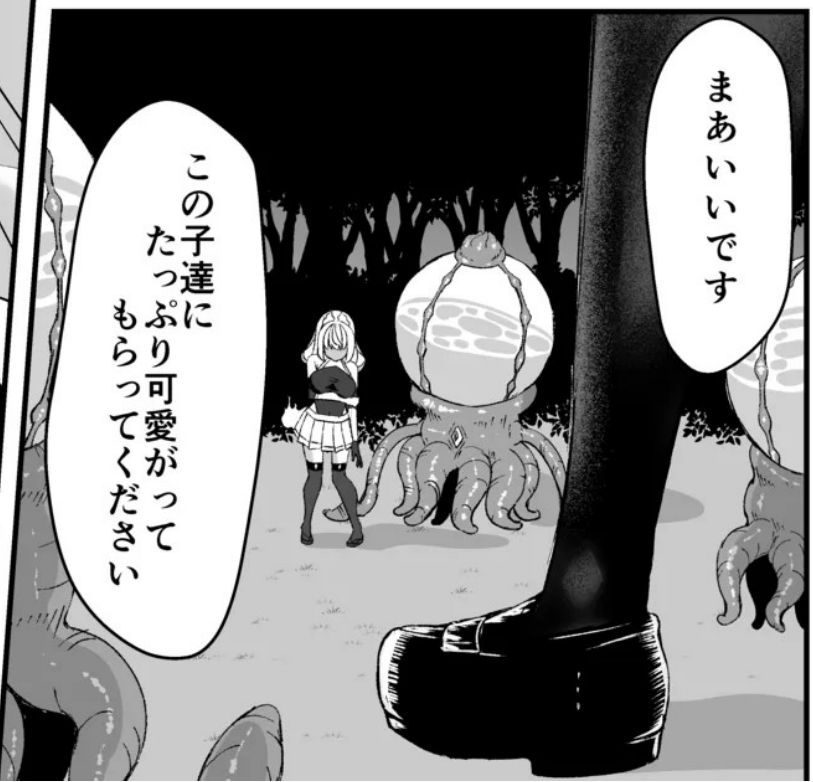

これからもっと…
…っ!?
ぐっ…
ううっ…
ガクッ…

拘束が外れた…?
に…げて…
はく…
先…輩…

…司ちゃん!?
司ちゃんなの!?
妖魔に…
身体を乗っ取られて…
もう…私の意志じゃ…

敵の増援!?
ズ
よりによってこんな時に…

誤算でした…
ギュィッ…
人間を制御しきるのは
時間がかかりますね
そういうわけにも…
抑制命令
（コマンドレジスト）
キィ イン…


まあいいです
この子達に
たっぷり可愛がって
もらってください

いかないでしょっ！
ビッ
ッ…
くぅぅっっ…
アァァ
どうして…？
炎がうまく出なくて…
シャァ
アァァ…
ムクリ…
敵を焼ききれない…っ

センパイの力を
抑制させてもらいました
ゴバッ
くぅっ…
ギュン
早く倒さないと
敗けてしまいますよ？
司ちゃんの力…ここま…
で…
ﾄｸｯ…

身体中が…熱い…っ
何を…されたの…？
この妖魔が生成しているのは
強力な媚毒なんです
さっき全身に
浴びちゃってましたから…

これからどうなるかは
わかりますよね…?
あ゛っっっ
バ
チィッッッ
ビ
ュッ
残念でしたね、センパイ…
この…っ
卑怯な手ばっかり…っ
ダメージも全部快感になって
顔が蕩けちゃってますよ…
にゅるぅ…

巻きつかれるだけで
身体が反応しちゃってる
じゃないですか
そんな…こと…
くうっ…
にゅるる…

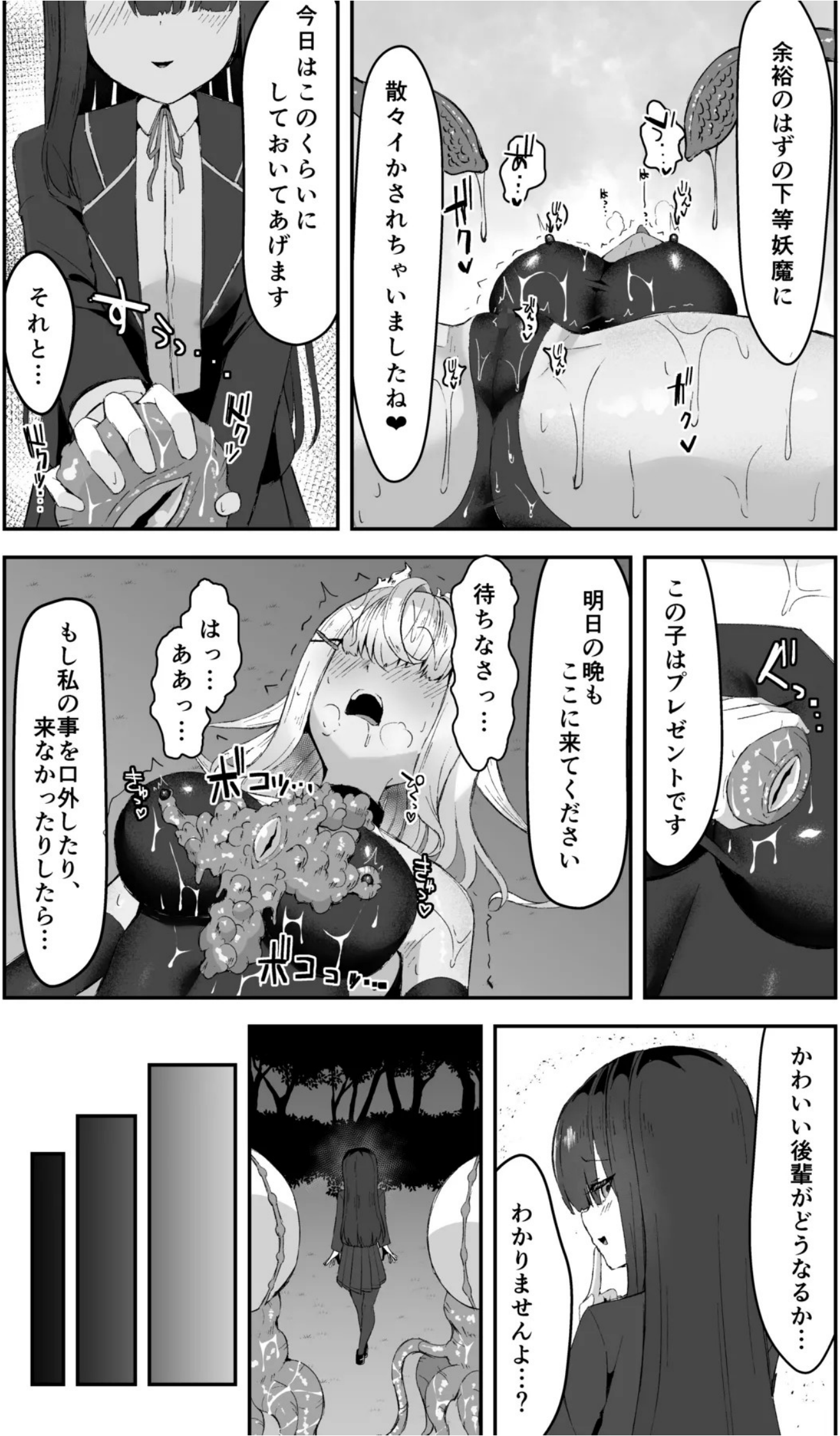
センパイの弱点もぜーんぶ…
ああっ…
むき出しにしちゃいますね…
ひうっ…
敏感な所ばかり
いじめられたら
どうなっちゃうん
でしょうね…？

んぉっ…♥
ダメ…♥
こすらないで～♥
ずりゅう～～～～♥
腋…撫でられるだけで
ぞくぞくする…っ
クリごと触手の
イボイボが当たって…
おかしくなっちゃう…っ
きゅん♥
司ちゃんを…
助けなきゃ
いけないのに…っ

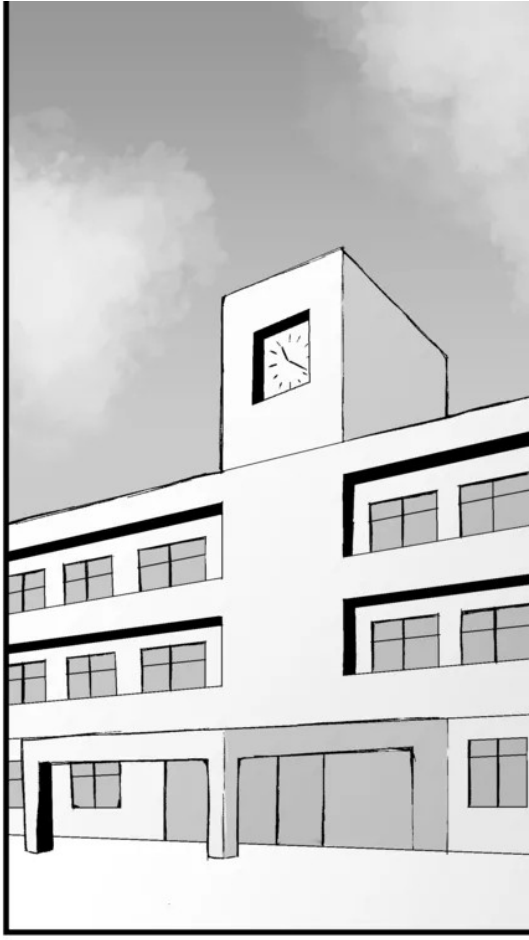
胸と腋…
一緒にコリコリしないでっ…
乳首しつこく吸われながら…
媚毒シャワー当てられてる…っ
逃げなきゃいけないのに…
腰が動いちゃう…っ
もう…ダ…メ…

ぶしゅううううっ
ぶしゅぅうううっ
ぷしぃぃぃ
びくっ
ガクッ
くりっ
ガクッ
びくんっ
あーあ…
イかされちゃいましたね…
どろ…
でもまだまだこれからです…
ぐいっ
まっ…て…

ちくび…やめ…っ♥ コリコリしたら…おぉっ♥
コリっ♥
コリ〜♥
は…お…まって…
イっちゃうからっ♥
シャワーはダ…あっ、ダあぁぁ〜〜♥
お♥
ひどくでイッ…〜♥
おぉっ♥
クリっ…♥ びんかんだからっ♥
おかないでっ♥ もう…イってるからっ♥
はっ♥
お♥
お♥
ゴっ…ふぅっ…♥
うぅ〜っ♥
もう…やめ…っ♥
んっ♥
こすられたら またっ…♥
にゅるっ♥


余裕のはずの下等妖魔に
散々イかされちゃいましたね❤
今日はこのくらいに
しておいてあげます
それと…
この子はプレゼントです
明日の晩も
ここに来てください
待ちなさっ…
はっ…
ああっ…
もし私の事を口外したり、
来なかったりしたら…
かわいい後輩がどうなるか…
わかりませんよ…？

もん
もん…



白
ひゃい!?

珠ちゃん…
任務の報告書…
進んでなさそうだったから
白の戦友
切海　珠

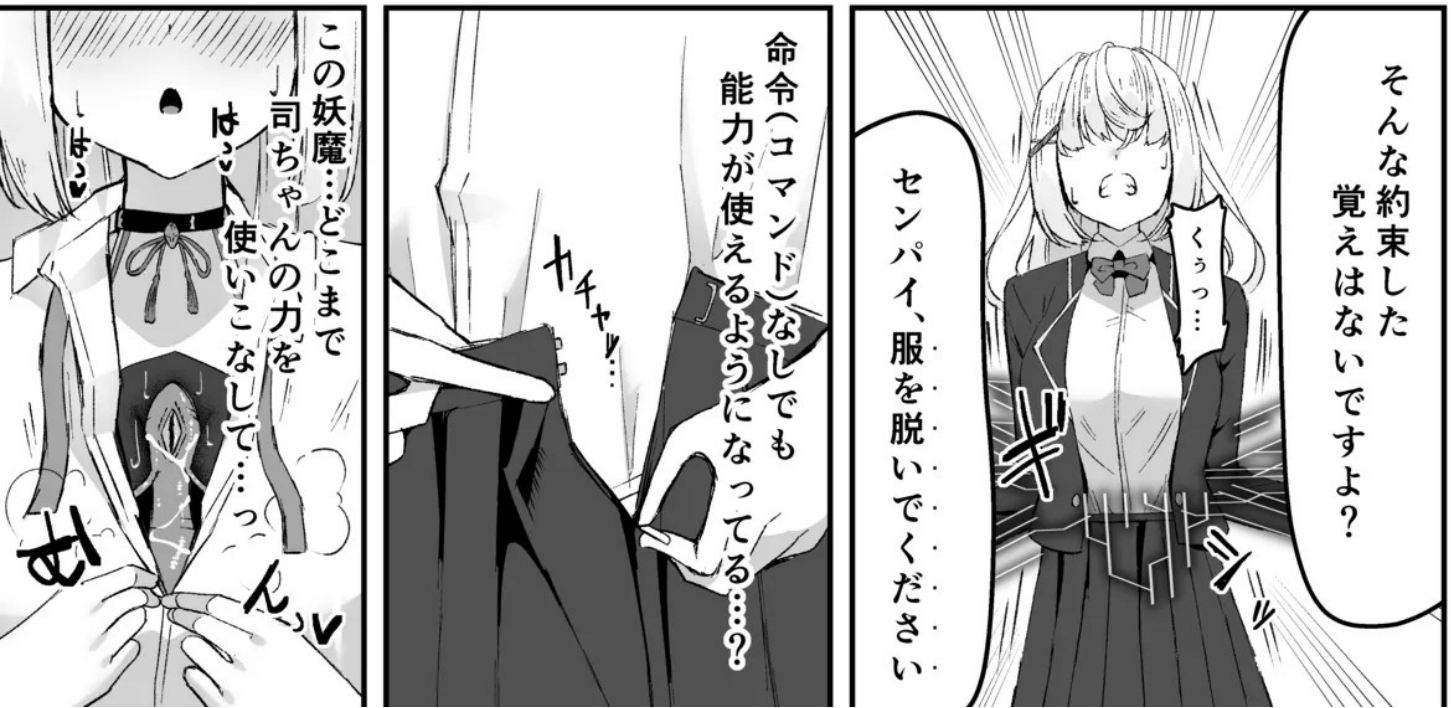
心配しに来てくれるなんて…
珠ちゃん私の事大好…んっ…
またふざけてる…
熱っぽいし汗もすごいけど…

司も休んでるって聞いてるし
あまり無理しない方がいい…
ありがと、珠ちゃん…

昨日の戦いの後、
なんとか家まで戻ることはできたけれど…
去り際に身体に
取り付けられた小型妖魔は
私の身体の敏感な箇所に
ぴっちりと張り付き…
ねちねちと責め立て
力を吸収してきた…
断続的な
エナジードレインと
快楽に眠ることもできず
取り付いた妖魔の能力か
術式も解除できずに
舐られ続けてしまった…

そして今も妖魔は
私の身体に取り付いたまま
じっくりと私の身体を弄んでいる
仕方なく法衣の上から
制服を着てるけれど…
くっ…
うっ…
法衣の張り付くような感触と
周りの視線が気になるせいで
ますます意識しちゃう…
きゅううん…
ヴヴヴヴヴヴ…
ちゅく…
ちゅく…
この妖魔を倒すことは
できるけれど…
司ちゃんの安全が
保障できないし…
どうすればいいの…？

ちゃんと来られて偉いですね
この身体もセンパイに
会いたがっていましたよ…？
プレゼントは
気に入ってもらえましたか？
ふざけないで…っ
司ちゃんを開放して…！


そんな約束した
覚えはないですよ？
くぅっ…
センパイ、服を脱いでください
ヤチャル…
命令（コマンド）なしでも
能力が使えるようになってる…？
この妖魔…どこまで
司ちゃんの力を
使いこなして…っ
はぁ♡
はぁ♡
んっ♡

むわぁ…
ビクッ…
ビクッ…

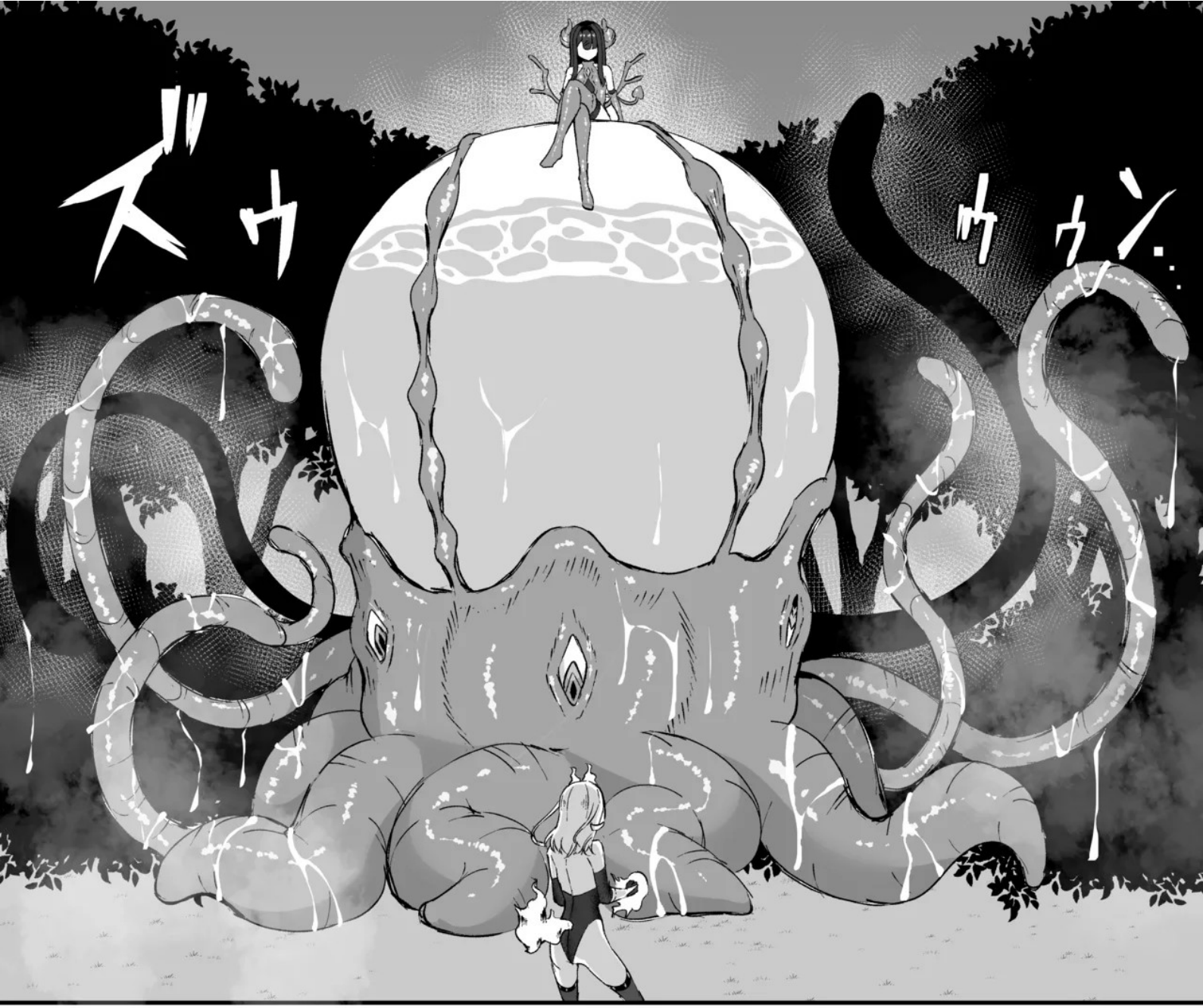
んぅっ…♥
ぷくっ
つんっ
予想以上に
育ってますね…

では…
ボコッ
ボココ…

返してもらいますね
ヴゥ…
ヴゥ…
はぁっ…
ボコッ…
ボコッ…
これがセンパイの力…
ズリュウゥン…
肉の…
繭…？
ピッシッ
くっ…
ジュウウウウ…
ぽっ…

さすがは上級術師の力…
格別ですね…
ビクン…
にゅっ…
すごぉぉぉ…
オォォ…

はぁ……はぁっ……
ゴゥッ…
その姿はなんなの……？
センパイに取り付けた
妖魔が吸った力を使ってみました
今のセンパイじゃ
もう私を止められないと
思いますよ…？
めるぅ…
キィィン…
どさぁ…
ボコッ
ボコッ
ボコッ


ズウ
ウウン…

これで思う存分遊べますよ…
センパイ…
ヌ
ー

ああっ…
嘘…身体がうまく動かない…
法衣の中に触手が…っ
法衣の内側を這い回られるだけで感じちゃってるんじゃないですか…？
そんなわけ…
な…はぁっ…

強がりなお口ですね…
んんぅっ…
全身に媚毒を浴びて
夜通し調教された身体ですよ？
んぅっ
そろそろ
敏感な所も
触っちゃいましょうか
んぶぅ…
まともに戦えるわけないじゃないですか

んぶぅぅぅ♥♥
ぴゅるっ♥
ガク
ぴゅっ♥
きゅぅぅっ♥♥
ぴゅるるっ♥♥
ずりっ
ずり
どぷ♥
どぷぷっ♥
くにっ
くにっ
ガク
ガク
すぐイっちゃった…
あ…
あぁ…♥
ぬるぬるの媚毒まみれになった顔もかわいいですね
ぬとぉ…
でもここからが本番ですよ…？
あっ♥
びくっ♥
きゅっ♥
きゅっ♥

センパイも
わかってるんですよね…？
自分の身体がじわじわ
えっちに変えられていること…
直接媚毒を
飲まされて…
優しく触って
勃たせてから…
こうしてしこしこ
するだけで…
胸の先が
熱い…
何かが…
来ちゃう…っ

たくさん射乳せてえらいですね
射乳イキした感想はどうですか？
もっともっと…
ちゅぽんっ♡
ハヤ…
まって…
ボコッ…
私好みにしてあげますね

カリッ
カリッ
カリッ
じゅりっ
ぐぐっ
ふっ
んっ
ぴくんっ
じんっ
ぴくっ
じゅりっ
ぴとっ
カリ
カリ
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ぴくんっ
ぬりゅ
ぐりっ
ぬりゅ
したはダメッ
れろ
くりゅ
おっ
ぐちゅ
じゅるるるっ
ザク
ザク
ちゅく…
じゅるるるっ
ちゅくっ
ヘコ
ヘコ

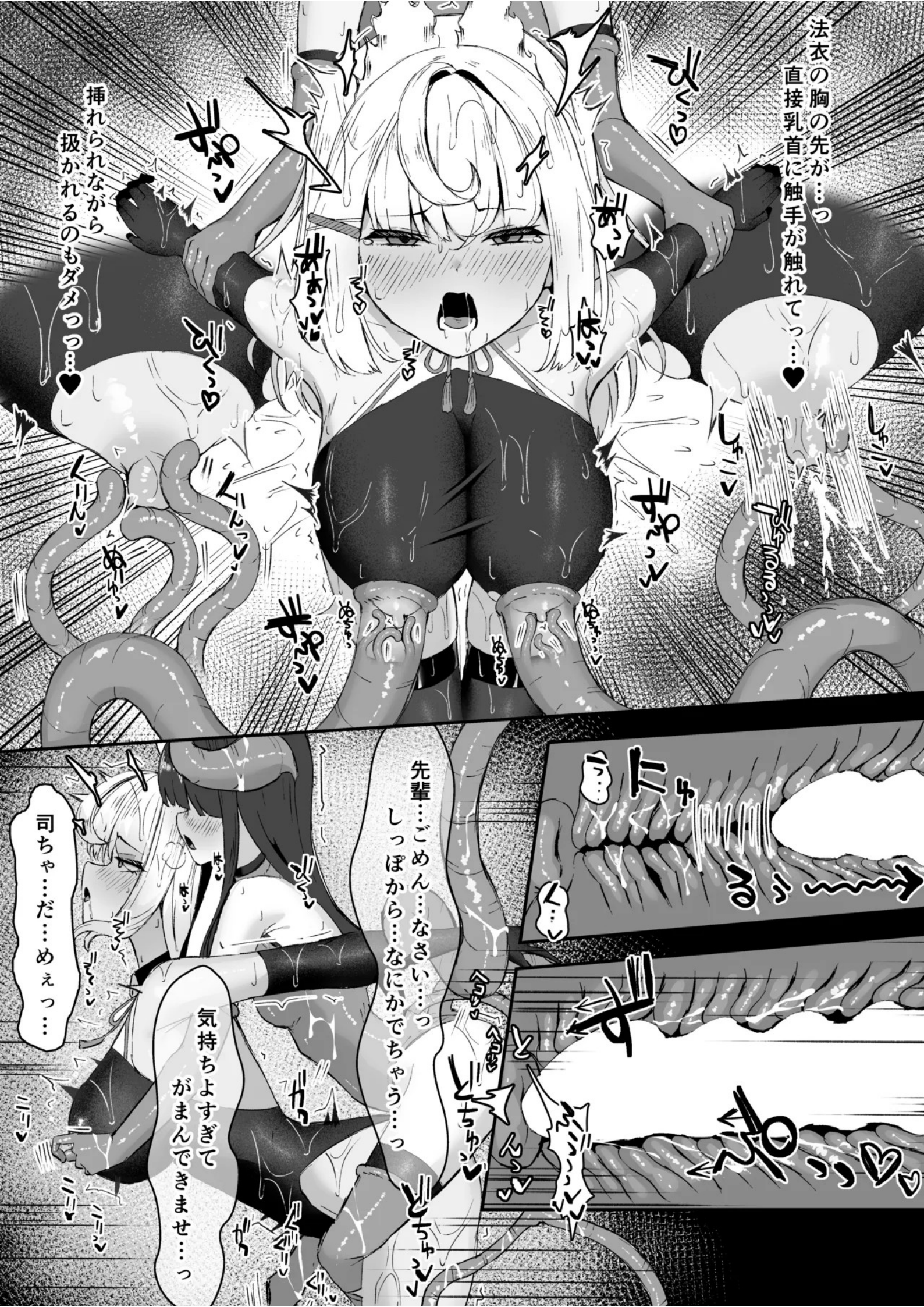
すっかりイキ癖がついちゃいましたね…
情けなく泣いちゃうセンパイも…
甘く責めてるだけで腰がカクカク跳ねちゃってますよ…
かわいい…❤
でもそろそろ…
もうイキたくな…
あぁ…
はぁ…
れろぉ～～～
きゅぅっ♡
ボコ
ボコ…

深ぁくイケるのも
この尻尾で突く度に…
欲しくなったん
じゃないですか？
法衣の護りを
少しづつ剥がして
いっちゃいます♥
嘘でしょ…？
今こんなの挿れられたら…
法衣がなくなって
術を使えなくなったら…
センパイに勝ち目は
ありませんよ…？

何…これ…
こんなの知らな…っ
どうですか？
挿れられた気分は…

私好みに散々
調教されきった身体で…
どこまで
耐えられますかね…？

すぐ終わるのも
面白くないので
後輩ちゃんに
会わせてあげましょうか――
――あ…
白…先輩…？
司…ちゃん…？
意識が…
戻ったのね…？
こんなこと…
もうやめよう？
先輩…
ごめんなさい…
身体がっ…いう事を
聞かないんです…
司ちゃん…
そん…なっ…
尻尾を先輩の
あそこに挿れるたびに
気持ちよくなって…
うそ…でしょ…
もうやめ…


法衣の胸の先が…っ
直接乳首に触手が触れてっ…♥
挿れられながら
扱かれるのもダメっっ…♥
先輩…ごめん…なさい…っ
しっぽから…なにかでちゃう…っ
気持ちよすぎて
がまんできませ…っ
司ちゃ…だ…めぇっ…

ん…あたま…ぼ〜っとしてっ
ぞくっ
はっ…
ぞわっ
んぁっ…
はあっ
ぬちゅ
ぬぱぁ…
はっ
ガクッ
んんっ
ダメ…なのに…
ヘコヘコ…とまらなっ
きゅんきゅん
ぬぷっ
ヘコっ

先輩っ…こんなに
気持ちよさそうな顔してる…
司ちゃん…待ってッ…
私も…気持ちよくなりたい…っ
もう…何も考えられない…
射精されたらっ…
敗けちゃうからぁっ…❤❤❤
司ちゃんを
助けられずに…
情けなく
イかされちゃう…っ♡♡♡
先輩…
せんぱい…っ♡♡

あっ♥
あっ♥
ガク♥
どぴゅっ♥
ガク♥
どぴゅっ♥

ごめん…
なさい…
ぷっ…

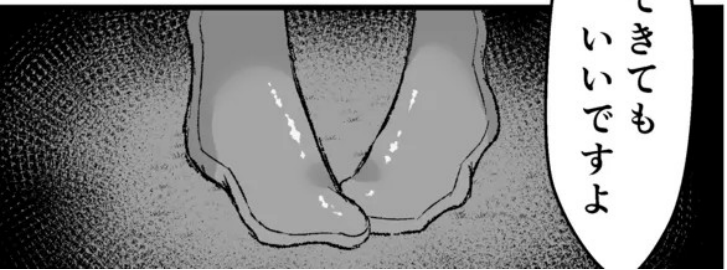
いやっ…
まって…っ
司ちゃ…
助け…
るるっ…

ジュウウ…
ぁ…
ばーっ
ぁあ…
先輩……

白が消息を絶ったのはここだけど…
一体どこに行ったの…

!?

司…？
その恰好は…？
珠センパイですか…
遅かったですね


出てきても
いいですよ

白…？
ぼっ
ぼぉ…
ぼっ
ぼっ
ぴくっ
ぴくん
ビクッ
ビクン
ニリ
ニリ
ニリ
くりっ
くりっ
ボコッ…
ボコッ
ガク
ガク
くちゃ
くちゃ
珠…ちゃん……
逃げ…テ
ヒュイィ…